

# 第17回 さいたま市保育研究大会

## 子どもたちのすこやかな成長を願って

～ 今、私たちにできること ～

令和6年度、国は保育政策のあり方を示した「保育政策の新たな方向性」を公表しました。待機児童対策を中心とした保育の「量」の拡大から「質」の高い保育の確保・充実が重要であるとされ、76年ぶりに「保育士の配置基準」の見直しがされるなど、保育を取り巻く状況は大きな転換期を迎えています。

このような中、私たちは様々な保育制度の動向や保育士に求められる役割・責務を十分に理解し、専門性を活かした質の高い保育を実践していく必要があります。

子どもにとってより良い保育を実践から学び合い、さらなる保育の質の向上と発展につながるよう『第17回さいたま市保育研究大会』を開催いたします。

さいたま市の保育に携わる皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日時】 令和8年1月24日（土）  
13:00～16:45（受付 12:30～）

【場所】 RaiBoC Hall（さいたま市民会館おおみや） 大ホール  
さいたま市大宮区大門町2-118  
TEL:048-641-6131

【日程】 13:00 開会  
13:10 実践発表  
社会福祉法人 彩光会 くまの子俱樂部三室保育園本館  
「保育環境が子どもに与える影響と育ち」  
さいたま市立大成保育園  
「子どものやりたいをかなえるために～Part2～」  
14:00 休憩  
14:20 総評  
15:05 記念講演  
16:40 閉会



### 《総評》

助言者：東京成徳大学  
子ども学部 子ども学科 教授  
坪井 瞳 氏

### 《記念講演》

『アタッチメントが拓く子どもの未来  
—「安心感の輪」と非認知的な心の発達—』  
講師：東京大学 大学院 教育学研究科 教授  
遠藤 利彦 氏

【主催】さいたま市、さいたま市私立保育園協会